

平成 28 年 2 月 4 日

国公立大学長 殿
私立大学長 殿
研究機関の長 殿

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所 所長 安成 哲三
(公印省略)

平成 28 年度 総合地球環境学研究所実践プロジェクト
インキュベーション研究 (I S) 及びコアプロジェクト・
フィージビリティ研究 (F S) の公募について (通知)

平素は、本研究所の運営に種々ご協力いただきまして誠にありがとうございます。
さて、総合地球環境学研究所では、平成 28 年度実践プロジェクトインキュベーション
研究 (I S) 及びコアプロジェクト・フィージビリティ研究 (F S) の公募を別紙のと
おり行いますので、ご検討のうえご応募くださいますようお願い申し上げます。

URL : <http://www.chikyu.ac.jp/rihn/project/recruitment/>

(本件担当)

総合地球環境学研究所管理部

企画連携課研究企画係

TEL: 075-707-2148

Mail: kenkyou@chikyu.ac.jp

平成 28 年 2 月 4 日

ご 案 内

別添の平成 28 年度実践プロジェクトインキュベーション研究 (I S) 及びコアプロジェクト・フィージビリティ研究 (F S) の公募にあたり、総合地球環境学研究所では下記の日時に公募説明会を開催いたします。応募いただく方は、可能な限りご参加くださいますようお願いいたします。

なお、本説明会資料は開催後に弊所ホームページに掲載いたします。申請を予定している方のうち、ご出席いただけない方においては必ずご確認ください。

大変恐縮ではありますが、会場の都合により、ご参加の場合には本件担当まで事前にご連絡をいただけますよう併せてお願い申し上げます。

記

日時：平成 28 年 3 月 9 日 (水) 11 時 00 分～12 時 00 分

場所：総合地球環境学研究所 (京都市北区上賀茂本山 4 5 7 番地 4)

備考：旅費は各参加者のご負担にてお願いいたします。

総合地球環境学研究所HP <http://www.chikyu.ac.jp/>

(本件担当)

総合地球環境学研究所管理部

企画連携課研究企画係

TEL: 075-707-2148

E-mail: kenkyou@chikyu.ac.jp

平成 28 年度 総合地球環境学研究所 実践プロジェクトインキュベーション研究 (I S) 公募要領

I 総合地球環境学研究所の設立趣旨と目的

総合地球環境学研究所 (以下「地球研」という。) は、地球環境問題の解決に向けた学問を創出するための総合的な研究を行う目的で大学共同利用機関として平成 13 年に創設されました。

環境の研究はこれまで科学の諸分野で個別に取り組みられてきましたが、地球研の使命は、環境問題の本質を解明して、人間と自然とのあり方を統合的に提示することであり、設立当初から「地球環境問題の根源は、人間文化の問題にある」と位置づけ、文理融合を中心とした「学際研究」や、研究者と社会の直接の連携に根ざした「超学際研究」を特色とする、多様な研究プロジェクトを通して、課題解決型の研究に取り組んできました。

地球研では、これまでの研究の成果を継承しつつ、平成 28 年度から始まる第三期中期計画では、研究体制としてプログラム－プロジェクト制を敷きます。プログラムは「実践プログラム」と「コアプログラム」からなります。実践プログラムには、「環境変動に柔軟に対処しうる社会への転換」、「多様な資源の公正な利用と管理」及び「豊かさの向上を実現する生活圏の構築」の 3 つの実践プログラムがあり、それぞれ複数の実践プロジェクトで構成されます。実践プロジェクトは、プログラムディレクターのリーダーシップのもと、実践プログラムの重点課題に沿って研究を進めて行きます。研究の成果として、地球環境問題の解決に向けた学術的研究の実施と社会における協働実践を通じて、人々の意識・価値観や社会の具体的なあり方の転換などの選択肢を構築・提示することが求められます。実践プロジェクトには、研究者コミュニティから研究テーマを広く公募し立ち上げる「個別連携型」及び地球研が求める要件にしたがって大学・研究機関との協定のもとで共同研究として公募・実施する「機関連携型」があります。

今回の公募では、実践プロジェクトのインキュベーション研究 (以下「 I S 」という。) の提案を募集します。

II 公募の内容

1. インキュベーション研究とは

今回公募を行う I S は、地球環境問題の解決に向けた総合的な研究における新たな研究シーズを発掘することを目的として、地球研及び所外の研究者が共同して行うものです。今回募集の I S は、応募の際、希望する実践プログラムを 1 つ選択して応募して下さい。

2. インキュベーション研究以降のプロジェクトの形成について

地球研の研究プロジェクト方式では、 I S は半年から 1 年後に個別連携型予備研究 (個別連携型フュージビリティ・スタディ：以下「実践 F S (個別連携型)」という。) または機関連携型予備研究 (機関連携型フュージビリティ・スタディ：以下「実践 F S (機関連携型)」という。) の候補となり、地球研の所内審査を経て実践 F S (個別連携型または機関連携型) に進むことが認められると 6 ヶ月ないし 1 年の研究を実施し、地球研の所内審査及び国内外の評価委員で構成する研究プロジェクト評価委員会によって適切と認められれば、地球研運営会議の承認を経て実践プロジェクト (個別連携型または機関連携型) に進展できます。

なお、研究推進の過程で実践 F S (個別連携型) あるいは実践 F S (機関連携型) のどちらにふさわしいかについて、地球研と申請者及び申請者の所属機関との協議に基づいて判断し、さらに連携機関との調整の進捗を踏まえたうえで、平成 28 年 10 月または平成 29 年 4 月から実践 F S (個別連携型または機関連携型：年間 400 万円程度の研究予算が支給される予定です。) に進展します。また平成 28 年度末または平成 29 年度末の評価結果により、実践プロジェクト (個別連携型または機関連携型：年間 5000 万円程度の研究予算が支給される予定です。) への進展を目標とします。

地球研プロジェクトの種別および実践プロジェクトの詳細については、「8. 参考資料」、特に「プロジェクトに求めるもの」をご参照いただき、地球研プロジェクトの概要をご理解いただいた上で、ISとしての申請に対する適合性をご判断ください。

2. 2. 実践FS（個別連携型）及び実践プロジェクト（個別連携型）の要件

実践FS（個別連携型）に進展した場合、その研究代表者（申請者）は地球研の客員教授または客員准教授になっていただく必要があります。（半年～1年）

さらに、実践プロジェクト（個別連携型）に進展した場合、そのプロジェクトリーダーには地球研の専任の教授または准教授になっていただく必要があります。

なお、地球研の専任の教授または准教授への採用の際には、地球研と研究代表者の所属機関の間で十分に協議を行います。

2. 3. 実践FS（機関連携型）及び実践プロジェクト（機関連携型）の要件

すでに地球研との連携協定を締結している機関は、実践FS（機関連携型）期間中に地球研との協議のもとに、さらに実践プロジェクト（機関連携型）の実施に必要な覚書等（双方に係る知的財産に関する事項も明記させていただく内容となります。）の準備をしていただきます。地球研との連携協定をしていない機関とは、この期間に新たに協定を締結する準備をしていただきます。

実践FS（機関連携型）に進展した場合、その研究代表者（申請者）は地球研の客員教授または客員准教授になっていただく必要があります。（半年～1年）

さらに、実践プロジェクト（機関連携型）に進展した場合、そのプロジェクトリーダーは所属機関から地球研への出向あるいは派遣といった形態をとるか、または地球研の専任教員になっていただきます。身分上の扱いと地球研におけるエフォート率等は所属機関によって事情が異なりますので、詳細については個別に相談させていただきます。また、これらについては連携協定ないし覚書等に定めるものとします。

3. 申請資格

- 1) 国、公、私立大学等の教授、准教授、講師及び助教
- 2) 上記1) と同等またはそれ以上の研究能力があると地球研所長が認めた者

4. 研究課題

地球研の要覧・ホームページの「地球研のめざすもの」等（II 8. 「参考資料」）を参照して地球研の研究教育職員と十分打合せのうえ、設定してください。

5. 研究期間

平成28年5月～平成29年3月末（平成28年10月に実践FS（個別連携型または機関連携型）に進展した場合は、ISはその時点で終了とします。）

6. 所要経費

旅費及び消耗品費等について、予算の範囲内において地球研が負担します。1件当たり30～100万円程度で予算計画を立ててください。但し、備品（単価10万円以上）の購入は認められません。

7. 公募後のスケジュール（現在における予定であり、変更が生じる場合もあります。）

- | | |
|------------------------|------------------|
| ・書類審査 | 平成28年 4月 5日 (火) |
| ・研究内容発表会（書類審査通過分ヒアリング） | 平成28年 4月 15日 (金) |
| | (予備日) 4月 18日 (月) |
| ・採択審査 | 平成28年 4月 19日 (火) |

- ・研究開始 平成 28 年 5 月 1 日 (日)
- ・ I S 報告・ F S 移行発表会 平成 28 年 9 月 2 日 (金)
- ・ F S 移行課題決定 (10 月期) 平成 28 年 9 月 2 日 (金)
- ・研究プロジェクト発表会※ 平成 28 年 11 月 30 日 (水) ~12 月 2 日 (金)
 ※10 月に F S に進展した場合は、F S としての発表が必要となります
- ・ I S 報告・ F S 移行発表会 平成 29 年 3 月 3 日 (金)
- ・ F S 移行課題決定 平成 29 年 3 月 3 日 (金)

8. 参考資料

- ・ 総合地球環境学研究所における研究活動の基本方針：(地球研 HP に掲載：改正予定)
- ・ 地球研のめざすもの：地球研 HP (<http://www.chikyu.ac.jp/about/overview/goal.html>)
- ・ 設立の趣旨と目的：地球研 HP (<http://www.chikyu.ac.jp/about/overview/purpose.html>)
- ・ 本研究実施までの流れ：(地球研 HP に掲載)
- ・ 総合地球環境学研究所研究プロジェクト規則：(地球研 HP に掲載：改正予定)
- ・ 総合地球環境学研究所研究プロジェクト実施細則：(地球研 HP に掲載：改正予定)
- ・ プロジェクトに求めるもの：(地球研 HP に掲載)
- ・ 総合地球環境学研究所 F R、F S 及び I S 審査実施要領：(地球研 HP に掲載)

III 応募書類の提出等

1. 提出書類

- ・平成 28 年度 インキュベーション研究 (I S) 申請書
- ・様式 1-1 I S 研究計画書
- ・様式 1-2 I S 提案者履歴書

2. 提出期限：平成 28 年 4 月 1 日 (金) 17 時必着

(郵送、持参どちらでも構いませんが、メールでの提出は認められません。)

3. 提出先：〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457-4

総合地球環境学研究所 企画連携課研究企画係

IV 審査

研究課題の選考は地球研研究プロジェクト所内審査委員会において行います。予算計画を含め、申請内容に対して書類にて審査を行い、書類審査を通過した課題については、地球研所員参加による公開ヒアリングを経て総合的な審査を行った後、地球研研究戦略会議において採択課題を決定します。

V その他

- ・ 研究内容発表会 (書類審査通過分ヒアリング) に参加される際の旅費は申請者の負担とします。
- ・ 研究内容発表会 (書類審査通過分ヒアリング) での使用言語は、日本語または英語とします。
- ・ 地球研の研究教育職員以外の方が申請される場合は、地球研の研究教育職員と十分に打ち合わせを行っていただき、地球研対応者を申請書に記載願います。なお、I S に採択された場合、当該 I S の研究方針等について助言を行う所内インキュベーターを地球研において決めさせていただきます。
- ・ I S に採択後、平成 28 年 9 月または平成 29 年 3 月に、上記「II 7. 公募後のスケジュール」に記載の I S 報告・F S 移行発表会において、研究代表者 (申請者) に I S の報告と F S 研究計画の発表

をしていただきます。なお、I S報告書については公開することがありますのでご承知おきください。

- 問い合わせ先

管理部企画連携課研究企画係

Tel : 075-707-2148

E-mail:kenkyou@chikyu.ac.jp

平成28年度 インキュベーション研究 (I S) 申請書

平成 年 月 日

総合地球環境学研究所長 殿

申請者 (研究代表者)

所属: _____

職名: _____

フリガナ

氏名: _____



E-mail: _____

地球研対応者の職・氏名 (注)	(職名)	(氏名)
研究課題	(和文)	
	(英文)	
研究計画	様式1-1 IS研究計画書のとおり	
履歴書	様式1-2 IS提案者履歴書のとおり	

承諾書

上記の申請者 (研究代表者) が総合地球環境学研究所インキュベーション研究 (I S) に申請すること及び採択された場合に当該共同研究を行うことを承諾します。

平成 年 月 日

所属機関長の職

氏 名



※ 公印が必要です。なお、承諾者は権限を有していれば、部局長等でも構いません。

(注) 申請にあたり、地球研対応者の内諾を得ておいてください。

I S 研 究 計 画 書

○ 研究課題名
○ 研究目的
※ 当該研究の対象とする「地球環境問題」とは何か、またその地球環境問題をどのような解決に資するのか、及びインキュベーション研究は、研究の新たなシーズを発掘するために実施するものですので、どのようなシーズをどのように発掘するのか（何をインキュベートするのか）を中心に研究目的を記載してください。
○ 研究概要
※ 地球研の設立趣旨ならびに基本理念に沿った共同研究であるかどうか。すなわち地球研の基本認識に基づく、いわゆる地球環境問題に関わる何らかの明確かつ具体的な問題の解決に資する学問的かつ分野横断的な探究であって、かつ一定の研究期間後にはまとまったストーリーとして研究の成果とその意義を社会に提示できるような研究計画の概要を記載してください。
○ 研究方法
※ 当該研究の対象とする地域及び研究方法を記載してください。
○ 実践プログラムへの貢献
※ 地球研の3つの実践プログラム（「環境変動に柔軟に対処しうる社会への転換」、「多様な資源の公正な利用と管理」、「豊かさの向上を実現する生活圏の構築」）から関連するプログラムを一つ選び、その理由を明記してください。

○ 「プロジェクトに求めるもの（実践プロジェクト）」との整合性

※ 地球研が推進する人間と自然系の相互作用のあり方の解明を基軸とする未来設計に資する地球環境学の推進に向けて、プロジェクトに求められる研究内容との整合性、あるいは求められている項目を満たすために予定しているアプローチについて記載してください。

(別添「プロジェクトに求めるもの（実践プロジェクト）」を参照してください。)

○ 期待される効果

※ 研究プロジェクトに進展した場合に期待される5～6年後の最終的な成果を記載してください。

I S 予 算 計 画 書

○ 研究課題名							
○ 予算計画 (所要経費合計)						千円	
所 要 経 費 内 訳	国内旅費	旅行区間 (時期)	職 名	日 数	回数	金 額	
				泊 日		円	
					泊 日		円
						合計	千円
	外国旅費	旅行区間 (時期)	職 名	日 数	回数	金 額	
				泊 日		円	
					泊 日		円
						合計	千円
物件費等	品 名 (規 格)	数 量	単 価	金 額			
			@		円		
			@		円		
					合計	千円	
諸謝金	作 業 内 容	員 数	単 価	金 額			
			@		円		
			@		円		
					合計	千円	

年 月	研 究 業 績
	【研究業績】（過去5年間を中心に主なもので結構です。）

平成 28 年度 総合地球環境学研究所 コアプロジェクト・フェージビリティ研究 (FS) 公募要領

I 総合地球環境学研究所の設立趣旨とコアプロジェクトの目的

総合地球環境学研究所（以下「地球研」という。）は、地球環境問題の解決に向けた学問を創出するための総合的な研究を行う目的で、大学共同利用機関として平成 13 年に創設されました。

環境の研究はこれまで科学の諸分野で個別に取り組まれてきましたが、地球研の使命は、環境問題の本質を解明して、人間と自然とのあり方を統合的に提示することであり、設立当初から「地球環境問題の根源は人間文化の問題にある」と位置づけ、文理融合を中心にした「学際研究」や、研究者と社会の直接の連携に根ざした「超学際研究」を特色とする、多様な研究プロジェクトを通して、課題解決型の研究に取り組んで来ました。

地球研では、これまでの研究の成果を継承しつつ、平成 28 年度から始まる第三期中期計画では、研究体制としてプログラム－プロジェクト制を敷きます。プログラムは「実践プログラム」と「コアプログラム」からなります。コアプログラムとは、「社会との協働による地球環境問題解決のために必要な理論・方法論の確立」（地球研 FR、FS 及び IS 審査実施要領を参照）を行う複数のコアプロジェクトからなり、具体的な環境問題の解決を目指す実践プログラムに属する多数の実践プロジェクトと緊密に連携しながら、研究を進めて行きます。コアプロジェクトの研究成果は、第三期中期計画で設置予定の「研究基盤国際センター」（以下「センター」という）の活動などを通して、地球環境問題の解決を目指す国内外の研究機関・研究者や社会の多様なステークホルダーの間で広く共有され、地球環境問題の解決に向けて真に有効な理論・方法論となって行くことが、求められます。

コアプロジェクトは、2-3 年間の研究プロジェクトとして実施され、年間 1000 万円程度の研究予算が支給される予定です。今回の公募では、コアプロジェクトのフェージビリティ研究の提案を募集します。

II 公募の内容

1. コアプロジェクトのフェージビリティ研究とは

今回公募を行うコアプロジェクトのフェージビリティ研究（以下「FS」という）とは、コアプロジェクトの実現可能性（フェージビリティ）を検討するために、コアプロジェクトの提案者が中心となって、地球研の内外の研究者や社会の多様なステークホルダーと共同して実施するものです。コアプロジェクトの FS は、地球研の所内審査及び国内外の評価委員で構成される研究プロジェクト評価委員会の審査（採用年度の後半に実施）によって適切と認められれば、地球研の運営会議の承認を経て、コアプロジェクトの本研究を開始できます。なお今回の FS では、平成 28 年度末の評価結果により、平成 29 年 4 月からコアプロジェクトの本研究を開始するための計画を提案していただきます。

2. 申請資格

- 1) 国、公、私立大学等の教授、准教授、講師及び助教
- 2) 上記 1) と同等またはそれ以上の研究能力があると地球研所長が認めた者

3. コアプロジェクトの研究課題とは

実践プログラムに属するプロジェクト群（現在、地球研において行われているプロジェクトの多くは、平成 28 年 4 月から実践プログラムに移行します。）との緊密な連携のもと、「社会との協働による地球環境問題解決のために必要な理論・方法論の確立」の一翼を担う研究課題であり、コアプロジェクト終了後、その研究成果が、地球研のセンターの活動などを通して、地球環境問題の解決を目指す国内外の研究機関・研究者や社会の多様なステークホルダーと共有され、地球環境問題の解決に向けて真に有効な方法論となっていくことが、求められます。

4. コアプロジェクト F S 及びコアプロジェクトの要件

コアプロジェクト F S に採択された場合、その研究代表者（申請者）は地球研の客員教授または客員准教授になっていただく必要があります。（1 年）

さらに、コアプロジェクトに進展した場合、そのプロジェクトリーダーの身分について、具体的には、プロジェクトの期間（2-3 年間）を任期とした地球研の教員になる、所属機関からの出向という形をとる、クロスアポイントメント制度などを使って現在の所属機関と地球研を兼務する、などの選択肢があり、地球研と研究代表者及び所属機関の間で十分に協議を行います。

5. 研究期間

平成 28 年 5 月～平成 29 年 3 月末

6. 所要経費

旅費及び消耗品費等について、予算の範囲内において地球研が負担します。1 件当たり 50～100 万円以下で予算計画を立ててください。但し備品（単価 10 万円以上）の購入は認められません。

7. 公募後のスケジュール（現在における予定であり、変更が生じる場合もあります。）

- ・書類審査 平成 28 年 4 月 5 日（火）
- ・書類審査を通過した申請課題のヒアリング 平成 28 年 4 月 15 日（金）
（予備日）平成 28 年 4 月 18 日（月）
- ・ヒアリング後の最終審査を通過した採択課題の研究開始 平成 28 年 5 月 1 日（日）
- ・研究プロジェクト発表会 平成 28 年 11 月 30 日（水）～12 月 2 日（金）
- ・研究プロジェクト評価委員会 平成 29 年 2 月 23 日（木）～ 2 月 24 日（金）

8. 参考資料

- ・総合地球環境学研究所における研究活動の基本方針：（地球研 HP に掲載：改正予定）
- ・地球研のめざすもの：地球研 HP （<http://www.chikyu.ac.jp/about/overview/goal.html>）
- ・設立の趣旨と目的：地球研 HP （<http://www.chikyu.ac.jp/about/overview/purpose.html>）
- ・本研究実施までの流れ（地球研 HP に掲載）
- ・総合地球環境学研究所研究プロジェクト規則：（地球研 HP に掲載：改正予定）
- ・総合地球環境学研究所研究プロジェクト実施細則：（地球研 HP に掲載：改正予定）
- ・プロジェクトに求めるもの：（地球研 HP に掲載）
- ・総合地球環境学研究所 F R、F S 及び I S 審査実施要領：（地球研 HP に掲載）

Ⅲ 応募書類の提出等

1. 提出書類

- ・平成28年度 コアプロジェクト・フィージビリティ研究（FS）申請書
- ・様式1-1 FS計画書
- ・様式1-2 FS提案者履歴書

2. 提出期限：平成28年4月1日（金） 17時必着

（郵送、持参どちらでも構いませんが、メールでの提出は認められません。）

3. 提出先：〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457-4

総合地球環境学研究所 管理部企画連携課研究企画係

Ⅳ 審査

研究課題の選考は地球研研究プロジェクト所内審査委員会において行います。予算計画を含め、申請内容に対して書類にて審査を行い、書類審査を通過した課題については、地球研所員参加による公開ヒアリングを経て総合的な審査を行った後、地球研研究戦略会議において採択課題を決定します。

Ⅴ その他

- ・研究内容発表会（書類審査通過分ヒアリング）に参加される際の旅費は申請者の負担とします。
- ・研究内容発表会（書類審査通過分ヒアリング）での使用言語は、日本語または英語とします。
- ・地球研の研究教育職員以外の方が申請される場合は、地球研の研究教育職員と十分に打ち合わせを行っていただき、地球研対応者を申請書に記載願います。

・問い合わせ先

管理部企画連携課研究企画係

E-mail: kenkyou@chikyu.ac.jp

平成28年度 コアプロジェクトフェージビリティ研究 (FS) 申請書

平成 年 月 日

総合地球環境学研究所長 殿

申請者 (研究代表者)

所 属 : _____

職 名 : _____

フリガナ

氏 名 : _____ 

E-mail : _____

地球研対応者の職・氏名 (注)	(職名)	(氏名)
研究課題	(和文)	
	(英文)	
研究計画	様式1-1 FS計画書 及び 様式1-2 FS予算計画書のとおり	
履歴書	様式1-3 FS提案者履歴書のとおり	

承 諾 書

上記の申請者 (研究代表者) が総合地球環境学研究所コアプロジェクトフェージビリティ (FS) 研究に申請すること及び採択された場合に当該共同研究を行うことを承諾します。

平成 年 月 日

所属機関長の職

氏 名 

※ 公印が必要です。なお、承諾者は権限を有していれば、部局長等でも構いません。

(注) 申請にあたり、地球研対応者の内諾を得ておいてください。

コ ア プ ロ ジ ェ ク ト F S 計 画 書

○ 研究課題名
○ 研究目的
※ 当該コアプロジェクトが構築を目指す、「社会との協働による地球環境問題解決のために必要な理論・方法論」とは何か。また「その理論・方法論の構築が、なぜ、地球環境問題の解決のために必要か、また、どのように必要なのか」を中心に、研究目的を記載してください。
○ 研究概要
※ FSの期間内に、当該コアプロジェクトのフェージビリティを明らかにするために、どのような研究を、誰と協働して実施するのかについて、具体的に記載して下さい。
○ 当該研究課題に関するこれまでの準備状況
※ 当該コアプロジェクトの課題に関する先行研究の状況、研究者・研究機関（地球研プロジェクトを含む）との協働の状況、関連する社会のステークホルダーとの協働の状況について、記載して下さい。

注) この頁は2枚以内で記載してください。なお、申請書提出の際には、各項目の説明文（赤字部分）は削除してください。

○ 研究のプロセス及び研究成果利用について

(1) 実践プログラム等との連携のあり方

- * 当該コアプロジェクトの目的を遂行するに当たり、「実践プログラムのプロジェクト（現在地球研において行われているプロジェクトの多くは、平成28年4月から、実践プログラムに移行します）」から、どのような連携を引き出していくことを想定しているか。その必要性、実現可能性、具体的な方策などについて、記載して下さい。

(2) センター等を介した研究成果の活用のあり方

- * 当該コアプロジェクトの研究成果である「社会との協働による地球環境問題解決のために必要な理論・方法論」を、プロジェクト終了後に、どのように活用して行く予定か。「研究基盤国際センター」を介しての事業化など、具体的な活用のあり方、それに向けた具体的な方策などについて記載して下さい。

F S 予 算 計 画 書

○ 研究課題名						
○ 予算計画 (所要経費合計)						千円
所 要 経 費 内 訳	国内 旅 費	旅行区間 (時期)	職 名	日 数	回数	金 額
				泊 日		円
				泊 日		円
						合計
外 国 旅 費	旅行区間 (時期)	職 名	日 数	回数	金 額	
			泊 日		円	
			泊 日		円	
					合計	千円
物 件 費 等	品 名 (規 格)	数 量	単 価	金 額		
			@	円		
			@	円		
					合計	千円
諸 謝 金	作 業 内 容	員 数	単 価	金 額		
			@	円		
			@	円		
					合計	千円

年 月	研 究 業 績
	【研究業績】（過去5年間を中心に主なもので結構です。）